

かがやきだより vol.33

今回のテーマは「胃内視鏡検診」です。

胃がんは、かつて日本人のがんによる死亡数の第1位でしたが、最近では診断方法と治療方法が向上し、男性では肺がんにつき第2位、女性は第5位となっています。(※1)

胃内視鏡検診は、小型のカメラを装着した細い管(5mm~10mm程度)を口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸を直接観察します。粘膜の微細な変化も鮮明に見えることから凹凸の少ない病変や出血なども確認することができます。胃炎から胃がんまで発見することができます。

常陸大宮市では、平成30年度から胃がん検診を指定医療機関で内視鏡により実施することが可能になりました。ピロリ菌の検査(リスク層別化検査)も追加料金なしで受けられます。開始から延べ1,744名が受診し、うち17人のがん診断につながっています。

がんが見つかったら怖いと思い、受診されない方もいらっしゃると思います。しかし、

胃がんは「なりやすい」がんですが、「治しやすい」がんでもあります。(※2)

早期の胃がんはご自分ではまず気づきません。対象年齢の方は、この機会にぜひ受診いただき、所見がなかった場合も定期的に受診されることをお勧めします。

検診費用

検診費用は約20,000円ですが、受診券を使った場合の**個人負担金は4,000円です。**

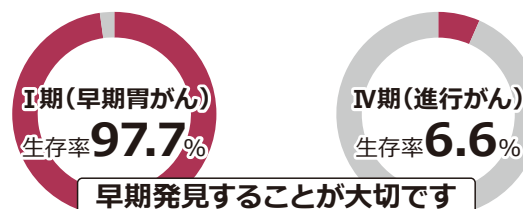
(※1) 胃がんの罹患状況と死亡数順位

男性の**9人に1人**、女性の**19人に1人**が一生のうちに胃がんと診断されています。

がんによる死亡数順位(2020年)

性別	順位	がん種別	性別	順位	がん種別
男性	1位	肺がん	女性	1位	大腸がん
	2位	胃がん		2位	肺がん
	3位	大腸がん		3位	膵臓がん
	4位	膵臓がん		4位	乳がん
	5位	肝臓がん		5位	胃がん

(※2) 胃がん5年生存率



胃内視鏡検診の対象になる方

年度内に51歳以上の奇数年齢になる方

ただし、自覚症状のある方、治療中の方、住民健診で胃がん検診(X線バリウム)を受診した(する)方及び市の人間ドック補助金を申請した(する)方は対象外です。

対象年齢の方には6月上旬に受診券をお送りしています。

再発行を希望される方は下記までご連絡ください。
総合保健福祉センター「かがやき」内
健康推進課 電話:54-7121

※救急受け入れの人数を月別に表しています。(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

